

研究課題：てんかん外科手術の認識度についてのアンケート調査

1. 研究の目的

てんかん患者は、本邦では 100 人に 1 人の発症率とされ、そのうちの約 30% が薬剤抵抗性てんかんです。薬剤抵抗性てんかんに対する治療として、抗てんかん発作薬による内服治療に加えて、てんかん外科手術、食事療法などがあります。

2024 年 4 月より当院でてんかん外科手術が実施できる体制が整い、小児てんかんセンターが設立されました。そこで、てんかんの診療を受けている患者様および家族、医療関係者、学校/保育などの方々を対象に、てんかん外科手術に関する認識度を調査します。

薬剤抵抗性てんかんに対する外科手術が海外に比べて本邦では手術件数が少ないとされ、そこには様々な障壁(Barriers)があると考えられています。

今回の研究では、その障壁の要因を見出し、対応策が講じることが期待できると考えております。

2. 研究の方法

倫理委員会承認後から 2025 年 9 月 30 日までの期間で、埼玉県立小児医療センター神経科外来受診されている患者様およびご家族、埼玉県内小中高の教員および幼稚園/保育園の職員などを対象に無記名のアンケートを行います。

Google Form を用いて、オンラインでの無記名回答になりますがメールアドレスは収集いたしません。

3. 研究期間

倫理委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

ご回答いただいた内容をまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌に公表されることがあります。Google Form を用いたオンラインでの無記名回答になり、かつメールアドレスは収集いたしませんので、回答された方は一切同定されず、個人情報も一切分かりません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：神経科 科長 菊池健二郎

実施分担者：神経科 副病院長 浜野晋一郎

保健発達部 医長 小一原玲子

神経科 医長 松浦隆樹

神経科 医長 平田佑子

神経科 医員 竹内博一

神経科 医員 堀田悠人

脳神経外科 医長 宇佐美憲一

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年9月30日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）